

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【桜木中学校】

学力向上
アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	R7年度さいたま市学習状況調査の結果、本校では「授業は自分に合った教え方や教材、学習時間になっているか」について、肯定的な回答が市平均を5pt上回り、偏に応じた学習課題の設定がなされていることがうかがえる。また、「自分で学び方を考え、工夫して学習に取り組んでいるか」においても、市平均を5pt上回り、生徒が主体的に学習に取り組む姿勢がみられる。一方で、知識・技能の定着状況には依然として生徒間の差が見られることから、既習事項の確認や繰り返し学習を通じて、基礎的・基本的な内容のさらなる定着を図る必要がある。今年度は、知識を概念的に理解することを重視し、生徒が主体的に知識・技能を獲得できる授業づくりを進めていく。また、「自分の考えを相手に分かりやすく伝えるために工夫して発表しているか」については、肯定的な回答が市平均を9pt上回り、説明文や資料・グラフ等の特徴を捉え、言語やデータを用いて表現する活動の改善が成果として表れている。さらに、「各教科で学んだことを生かして自分の考えをまとめる活動」についても、市平均を6pt上回り、教科横断的に思考し表現する力が着実に育成されている。今年度も、各教科や総合的な学習の時間等において、機会を明確にし、他者の考えと比較しながら分かりやすく伝える活動を継続し、表現力の向上を図っていく。
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	①知識を概念的に理解することを重視し、生徒が主体的に知識・技能を獲得できる授業づくりを進めていくために、各授業において問題の答えを求めるだけではなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、生徒(児童)が筋道を立てて説明する授業の実施。【各単元の中で1回以上】 ②各教科や総合的な学習の時間等において、機会を明確にし、他者の考えと比較しながら分かりやすく伝える活動を継続し、表現力の向上を図っていくために、課題解決の過程における自分や友達との学びの深まりや疑問に思ったことや、自分の学び方について振り返ることができる時間の設定。【単元末】

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	
↓		
今年度の成果と 次年度の課題		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	
↓	
結果から考えられる 児童生徒の実態	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③中間評価を経た取組 ④調査結果を活用した授業

②	全国学力・学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	国語、数学、英語の全ての教科において、全国基準を大きく上回った。また、「国語に関する意識」、「国語の学習活動」、「英語の学習活動」などの学習意欲も高い。生徒質問調査における「自己有用感・心理的安全性等」の肯定的な回答は極めて高い。協働的な学びへの意欲が高く、話し合いを通して、「自分と違う意見について考えるのが楽しい」と感じたり、「自分の考えを深めたり新たな考え方に気づいたりできている」と感じている生徒が多く、協働的な学びの場面が確立されている。特に、国語の文章記述問題や、数学の説明記述問題において高い得点率の生徒がすべての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答しており、記述式問題に対する粘り強さや、主体的に表現しようとする姿勢が圧倒的な強みとして表れている。
↓	
結果から考えられる 児童生徒の実態	「心理的安全性」を基盤とした他者尊重と協働の定着、学級内に「人と違う意見を言っても否定されない」という強い信頼関係があるため、生徒は他者との意見の相違を恐れるどころか、むしろ「異なる視点に触れることを楽しむ」話し合う活動を通して自らの考えを深める」といった高い次元の協働的な学習態度を実態として身に付けている。高い「メタ認知力」に支えられた学びの自己調整能力:「自分で学び方を考え工夫する」「分かった点・分からない点を見直し次の学習につなげる」といった行動から、自らの学習を客観的にコントロールする「学びの自己調整」の実態が明確に見られる。この自立的な学習態度が、他者からの助言を生かす積極的な行動などにも現れている。自己肯定感に基づき困難への挑戦意欲(「自己有用感」)や「教師からの承認」に支えられた自信が、テストにおける記述式問題に対して「最後まであきらめずに解答を記述し切る」という、課題に立ち向かう強い粘り強さとして日常の授業から実を結んでいる。

③	中間評価
学力向上策の 実施状況	評価(※) A
学力向上策の 見直し	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)